



150
YEARS
ANNIVERSARY

株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2025年3月期 第3四半期決算説明会

取締役専務執行役員 CFO 渡邊明 | 2025年2月5日

01 決算概要

第3四半期 増収減益

売上高は順調に増加。成長投資を継続

- 【売上高】 **1,330億円 (前期比+6%)** : 計測・航空が牽引、5期連続で過去最高
- 【営業利益】 **168億円 (前期比▲8%)** : 成長投資などにより減益

通期目標

4Qは中国の回復や生産増により増収増益を目指す 3Qまでの業績を鑑み、通期目標を修正

- 【売上高】 **5,400億円 (前期比 +5%)** : 目標は変更せず過去最高を更新
- 【営業利益】 **730億円 (前期比 +0%)** : 増益を達成し過去最高を更新

業績サマリー

	単位：億円	第3四半期(10月-12月)		前年同期比	
		FY2023	FY2024	増減額	増減率
業績	売上高	1,261	1,330	+69	+6%
	営業利益	182	168	▲14	▲8%
	営業利益率	14.5%	12.6%	▲1.8pt	
	経常利益	171	208	+37	+22%
	親会社株主に帰属する当期純利益	125	148	+23	+19%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	147.93	152.47	+4.53	+3%
	ユーロ(円)	159.17	162.63	+3.47	+2%
	研究開発費	52	71	+19	+37%
	設備投資額	43	61	+18	+40%
	減価償却費	47	48	+1	+3%

(除中国：+10%)

為替影響額

(売上高、営業利益は平均為替レートで、為替差損益は期末レートで計上)

売上高 : +22億円

営業利益 : +15億円

為替差損益 : +50億円

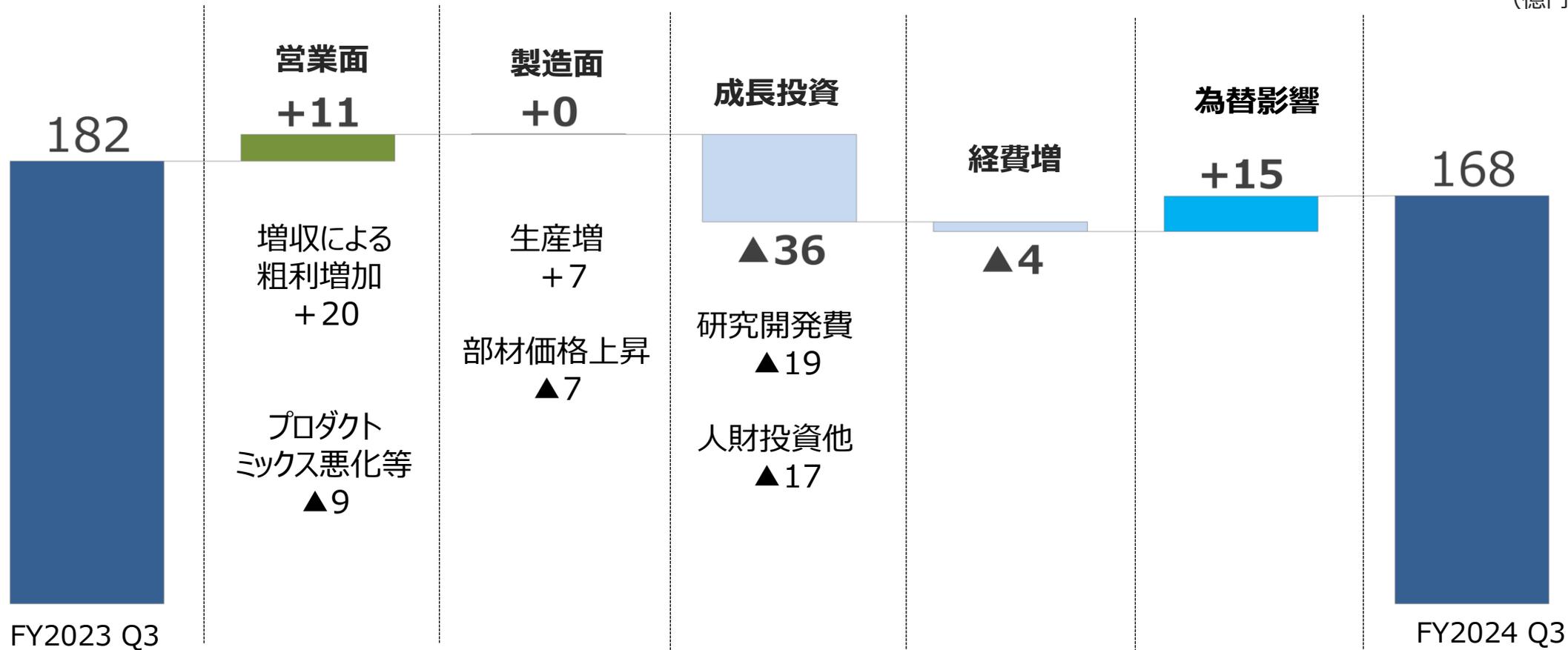
FY2023 3Q : 9月末・1ドル150円→12月末・142円

FY2024 3Q : 9月末・1ドル143円→12月末・158円

連結／営業利益増減要因（10-12月）

- 営業面 : プロダクトミックス悪化を増収による粗利増で補い増加 +11億円
- 製造面 : 部材価格上昇を生産増で補う +0億円
- 成長投資 : 研究開発費、人的投資などの成長投資 ▲36億円

(億円)

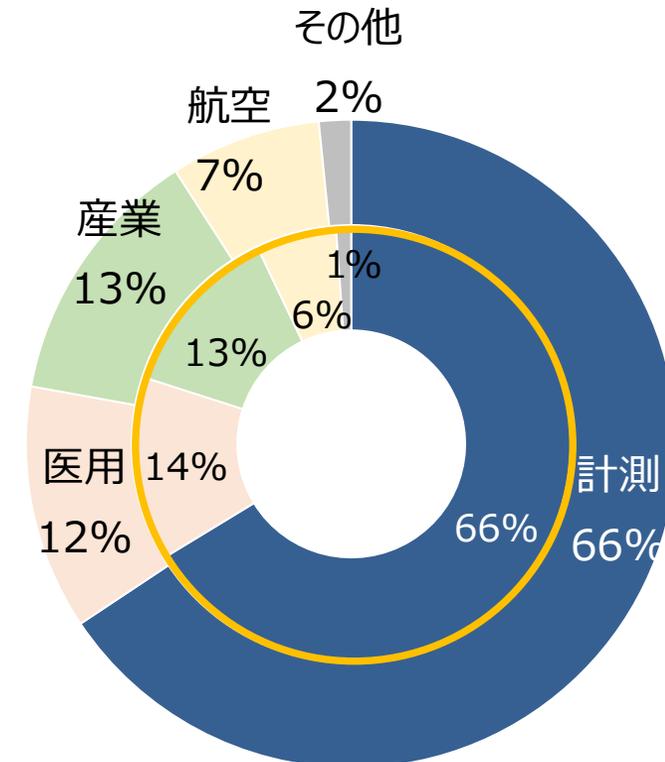


セグメント別損益

- 計測：増収減益（売上は過去最高）
- 医用：減収減益
- 産業・航空：増収増益（売上・利益ともに過去最高）

単位 億円	売上高			営業利益			営業利益率	
	FY2024 3Q	前年同期比		FY2024 3Q	前年同期比		FY2024 3Q	前年同期比 増減
		増減額	増減率		増減額	増減率		
計測機器	873	+38	+4%	125	▲16	▲12%	14.3%	▲2.6pt
医用機器	162	▲10	▲6%	1	▲7	▲93%	0.3%	▲4.0pt
産業機器	174	+10	+6%	26	+7	+40%	14.9%	+3.5pt
航空機器	100	+25	+33%	17	+2	+13%	16.8%	▲3.0pt
その他	21	+7	+51%	3	+0	+7%	10.6%	▲2.3pt
調整額	-	-	-	▲3	▲0	-	-	-
合計	1,330	+69	+6%	168	▲14	▲8%	12.6%	▲1.8pt

セグメント別3Q売上高構成比

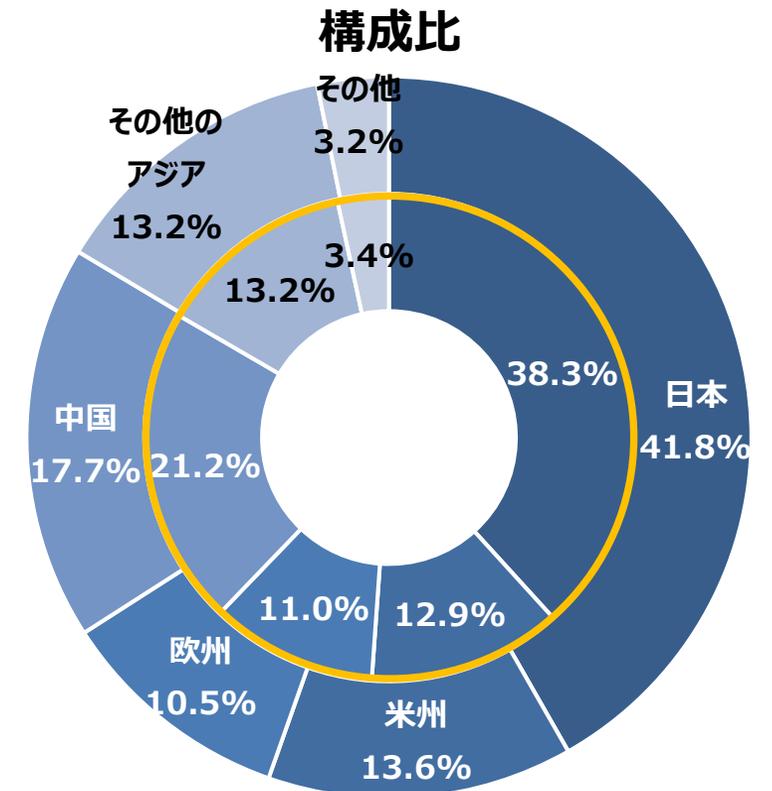


※円グラフ：外側 FY2024実績
内側 FY2023実績

連結／地域別売上高

- 売上高：日本、米州が牽引。中国の構成比▲3.5pt減少
- 海外売上高比率：58.2%（前年同期比▲3.5pt）

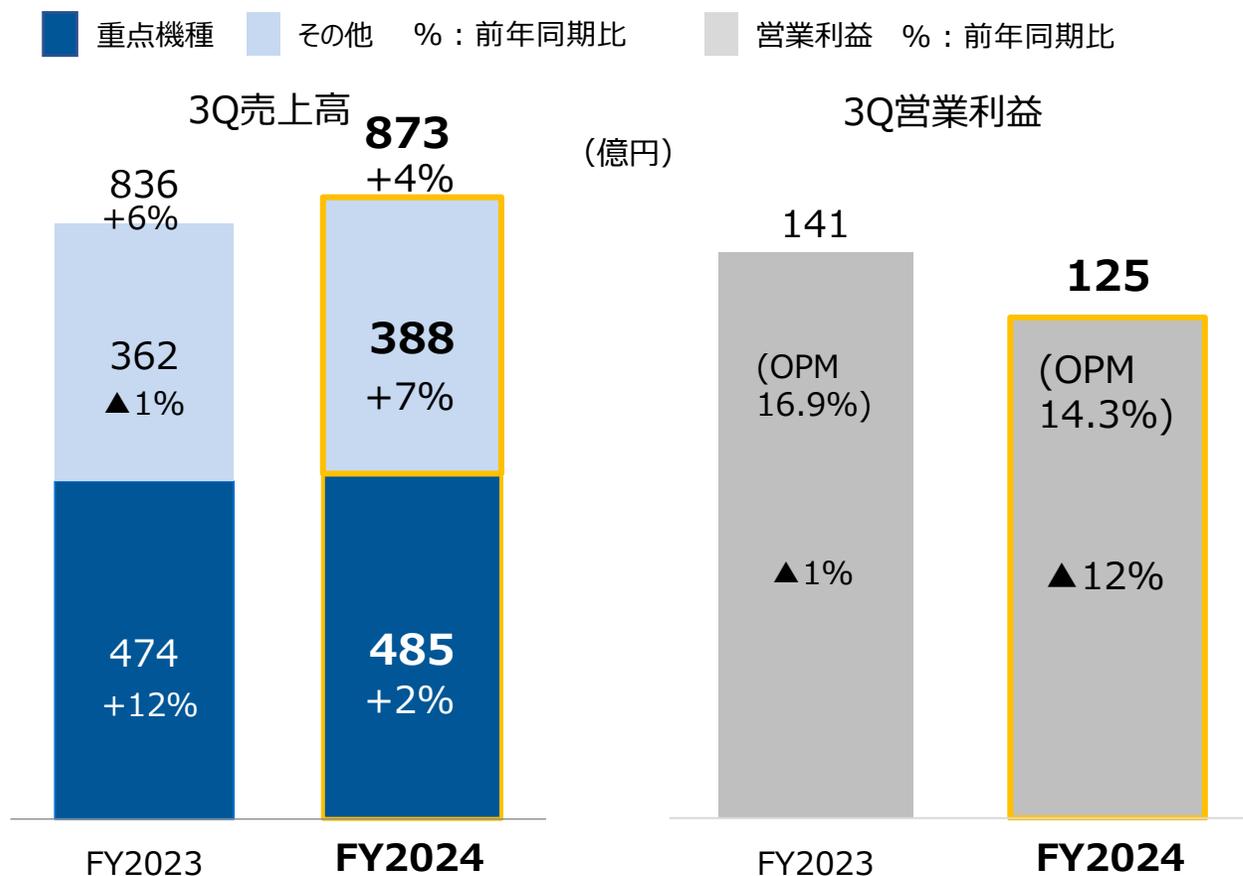
単位 億円	売上高				構成比	
	FY2023 3Q	FY2024 3Q	前年同期比		FY2023 3Q	FY2024 3Q
			増減額	増減率		
日本	483	556	+73	+15.1%	38.3%	41.8%
海外	778	775	▲4	▲0.5%	61.7%	58.2%
米州	162	181	+19	+11.9%	12.9%	13.6%
欧州	139	140	+1	+0.5%	11.0%	10.5%
中国	268	236	▲32	▲12.1%	21.2%	17.7%
その他のアジア	166	176	+9	+5.6%	13.2%	13.2%
その他	43	42	▲1	▲1.2%	3.4%	3.2%



※円グラフ：外側 FY2024実績
内側 FY2023実績

計測機器 / 売上高・営業利益

- 売上高 : 重点機種、その他機種ともに過去最高を更新
- 営業利益 : 成長投資増などより減益



重点機種 前年同期比 +11億円

領域

- ヘルスケア : 医薬市場で液体クロマトグラフが増加
- グリーン : PFAS需要が各地域で増加

地域 (P9参照)

- 日本、北米・インドが牽引
- 中国は前年同期比▲5%まで回復 (2Q同▲24%)
特に政府支援策で需要が拡大したMSはプラス転換

その他 前年同期比 +26億円

- 水素や電池材料開発に試験機が好調
- 新製品効果で分光光度計等が増加

※重点機種 : 液体クロマトグラフ (LC)、質量分析システム (MS)、ガスクロマトグラフ (GC)

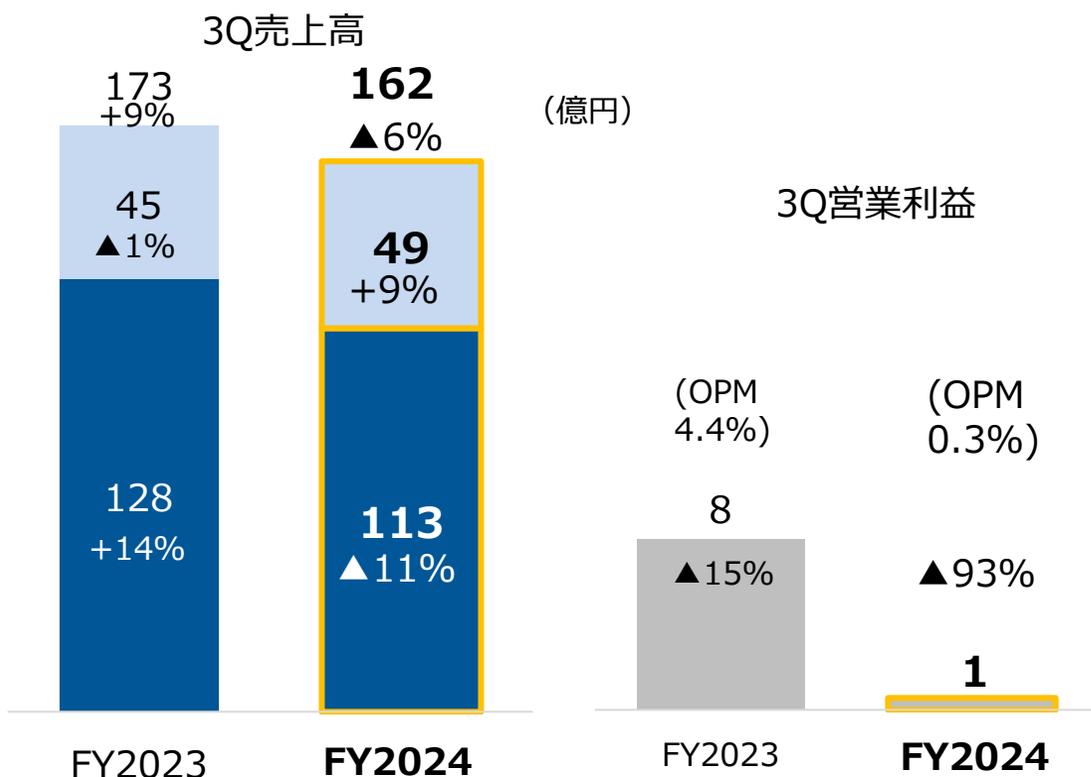
計測機器／地域別売上高

単位 億円		FY2023	FY2024	前年同期比		3Q(10-12月) 概況
				増減額	増減率	
日本	3Q累計	817	866	+49	+6%	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加 ・試験機が新素材開発向けで増加
	1Q	221	232	+11	+5%	
	2Q	321	327	+6	+2%	
	3Q	275	307	+32	+12%	
海外	3Q累計	1,606	1,613	+7	+0%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は65%(前年比▲2pt) ・北米は21%増、中国は減少幅縮小
	1Q	493	506	+13	+3%	
	2Q	552	541	▲12	▲2%	
	3Q	561	566	+5	+1%	
北米	3Q累計	240	278	+38	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・特定顧客向けLC増加、マルチベンダーサービス会社（Zef社）の新規連結貢献
	1Q	72	82	+10	+13%	
	2Q	91	103	+12	+13%	
	3Q	77	94	+16	+21%	
欧州	3Q累計	290	303	+14	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査向けで質量分析システムが増加
	1Q	85	91	+6	+8%	
	2Q	94	98	+4	+4%	
	3Q	111	114	+3	+3%	
中国	3Q累計	594	527	▲67	▲11%	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬、受託分析市場の低迷により、液体クロマトグラフが減少 ・化学向け大口案件の反動によりGCが減少 ・大規模設備投資支援によりアカデミア、官需（税関）向け増加
	1Q	191	181	▲9	▲5%	
	2Q	206	167	▲39	▲19%	
	3Q	198	179	▲19	▲10%	
その他のアジア (インド除く)	3Q累計	227	218	▲10	▲4%	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国で大口案件の反動で質量分析システムが減少
	1Q	69	66	▲2	▲3%	
	2Q	77	70	▲7	▲9%	
	3Q	81	81	▲0	▲1%	
インド	3Q累計	123	141	+18	+15%	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬、受託分析向けで、液体クロマトグラフが増加 ・前年代理店向け出荷増（4Qから3Qへ前倒し）
	1Q	34	40	+7	+20%	
	2Q	39	49	+10	+25%	
	3Q	50	52	+2	+4%	

医用機器／売上高・営業利益

- 売上高 : X線機種は減少、その他機種は増加
- 営業利益 : 売上減、プロダクトミックス悪化などにより減益

■ X線機種 ■ その他 % : 前年同期比 ■ 営業利益 % : 前年同期比



X線機種 前年同期比 ▲15億円

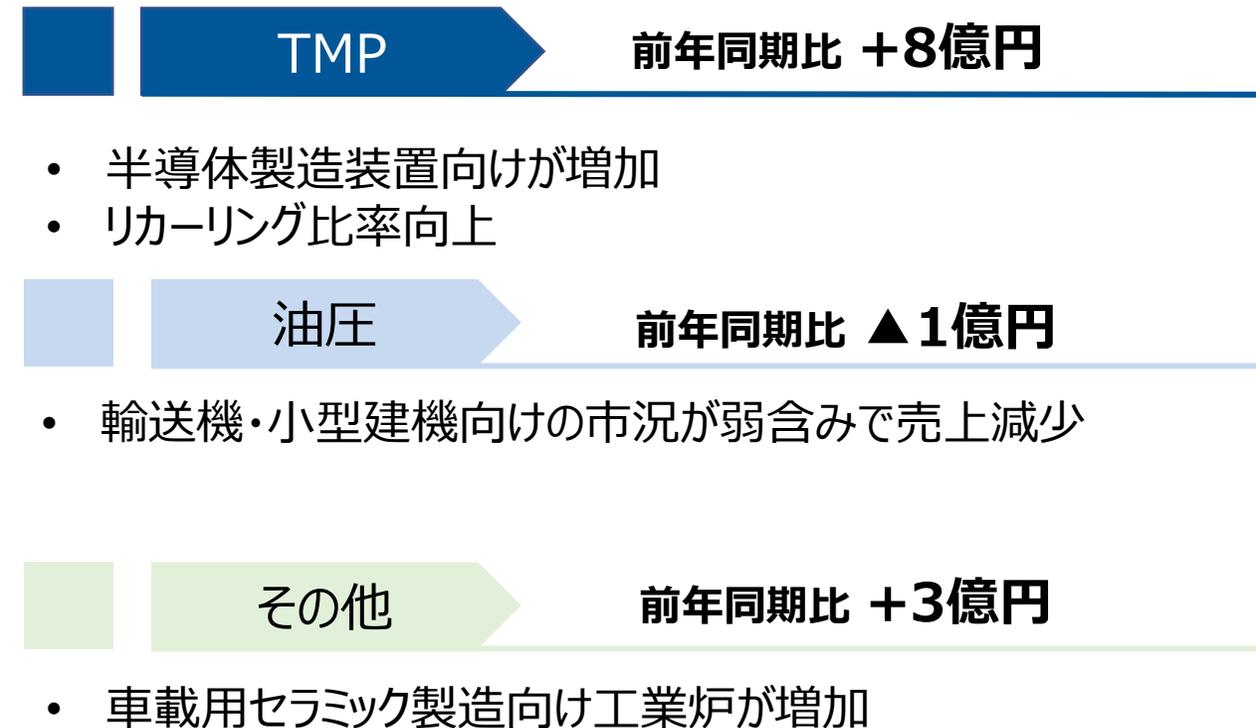
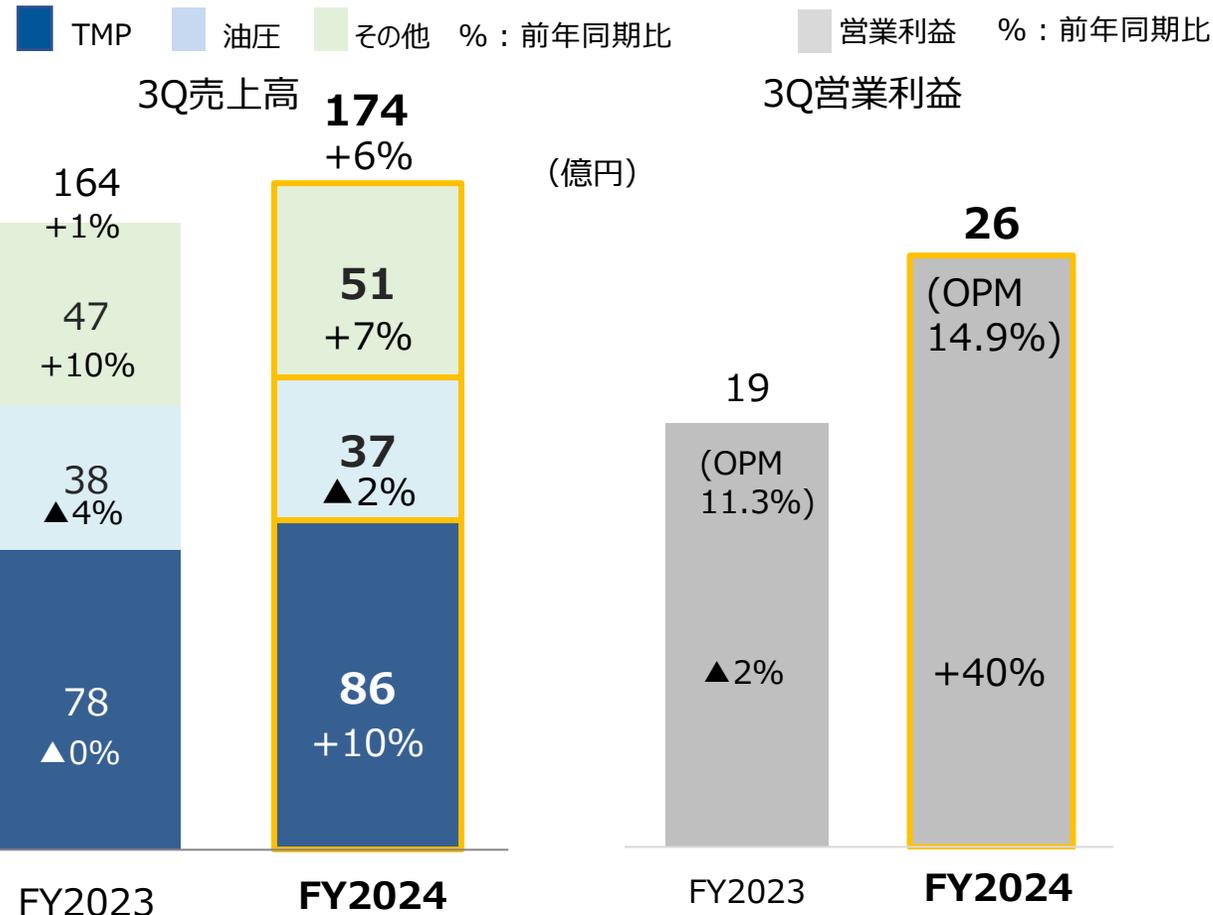
- 北米でX線TVシステムが増加
- 日本と中国で市況悪化により減少

その他 前年同期比 +4億円

- 放射線治療支援システムが日本で増加

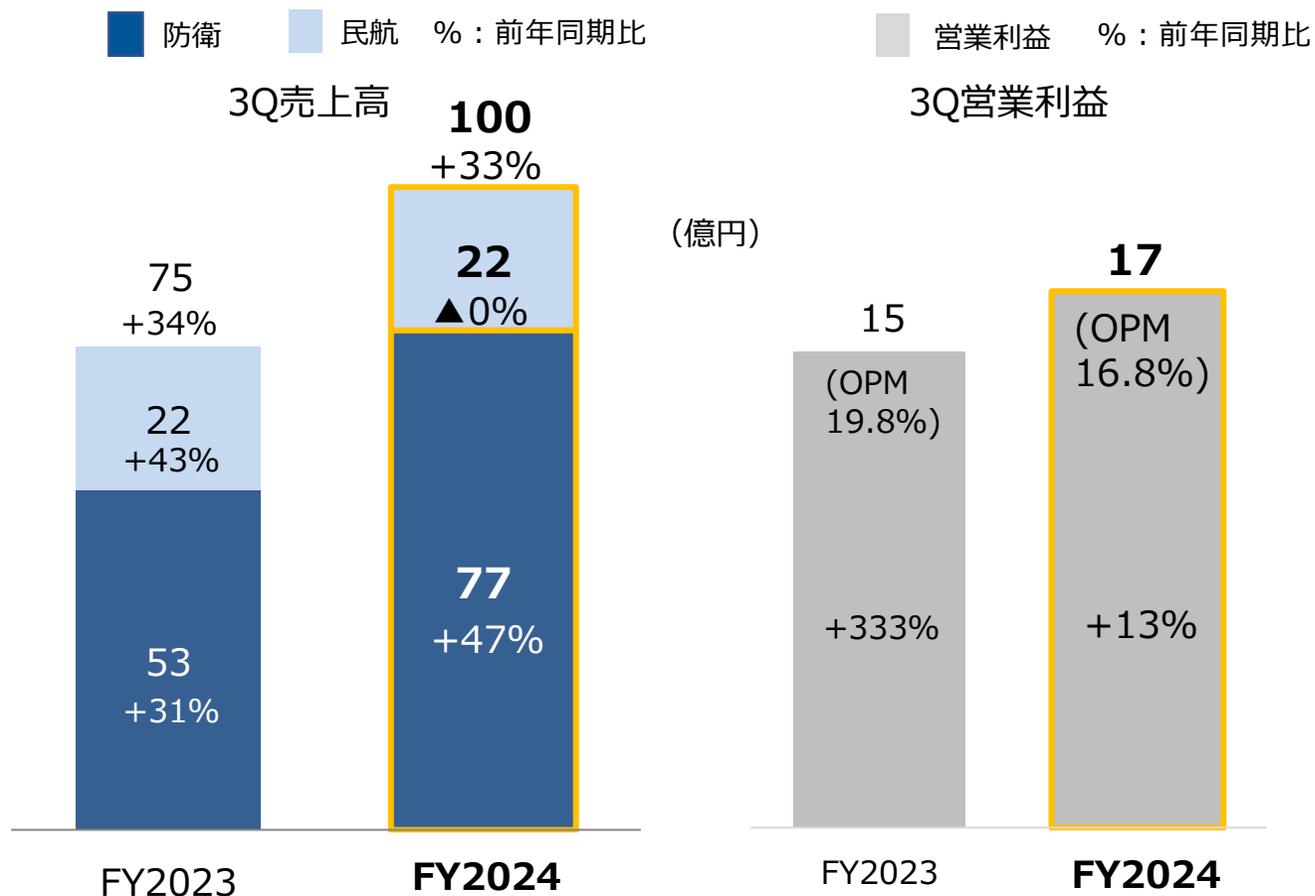
産業機器 / 売上高・営業利益

- 売上高 : 半導体製造装置向けTMP、車載用セラミック製造向け工業炉増加
- 営業利益 : 増収効果に加え、TMPのリカーリング比率向上により粗利率改善



航空機器／売上高・営業利益

- 売上高 : 防衛向け大幅増加、民間航空向け減少
- 営業利益 : 増収効果により増益



防衛 前年同期比 +25億円

- 政府の防衛力強化方針により需要が拡大

民航 前年同期比 ▲0億円

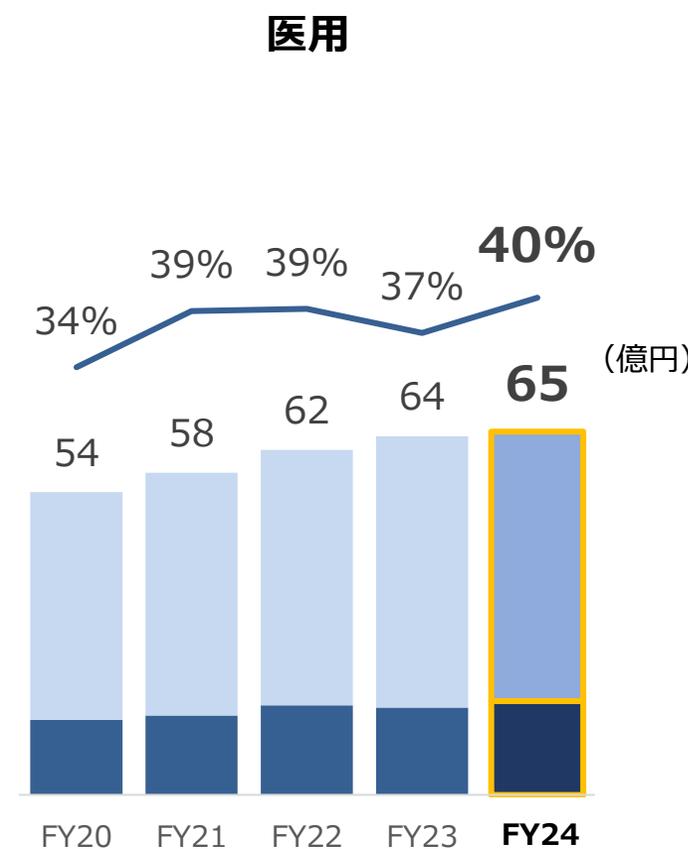
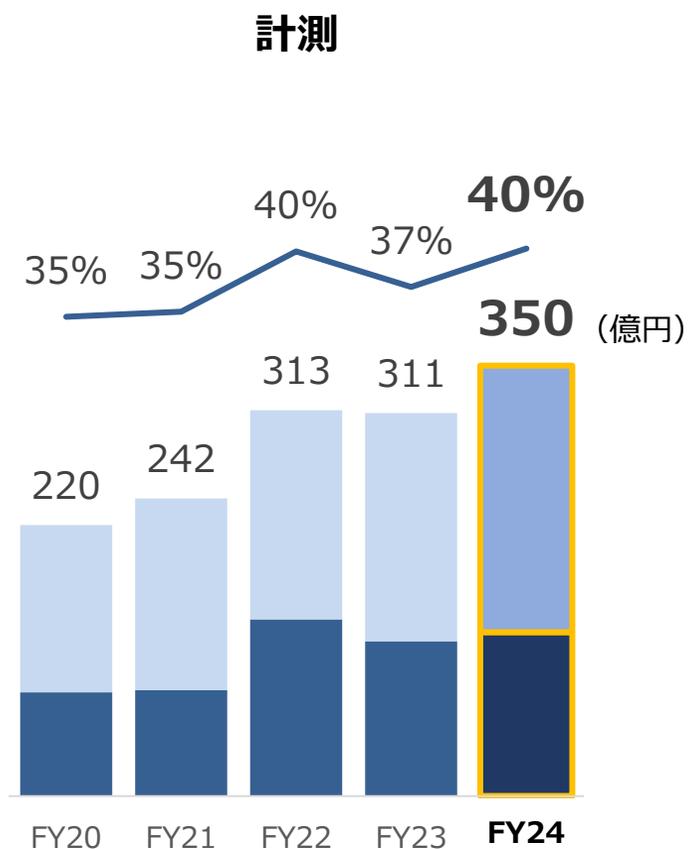
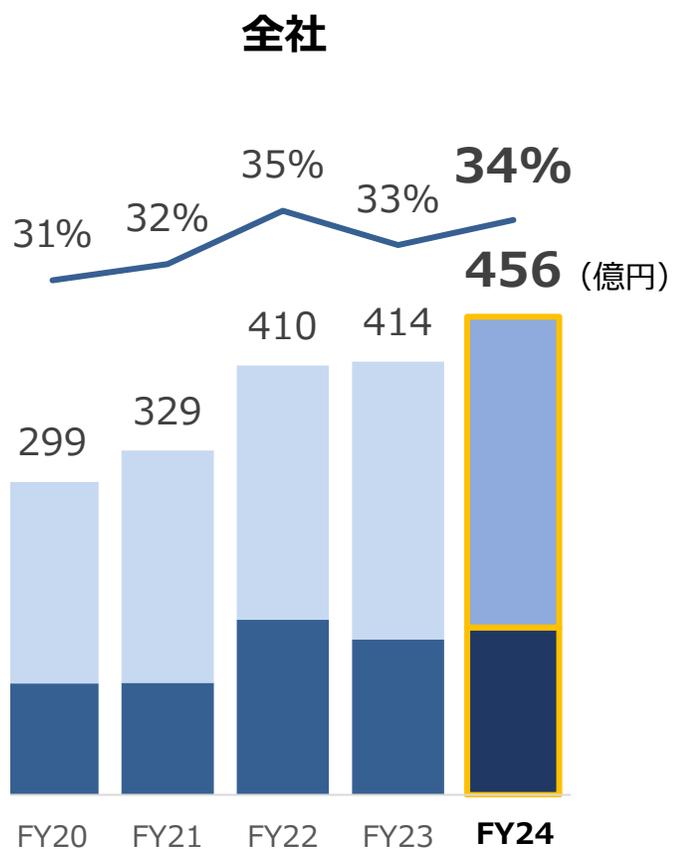
- 前年の補用部品の反動で微減

リカーリング売上高・比率（10-12月）

【全社】（前年同期比+42億円）：計測が牽引し増加

- ・ 計測（前年同期比+39億円）：北米マルチベンダーサービス会社（Zef社）の貢献等によりサービス増加
- ・ 医用（前年同期比 +1億円）：北米サービス会社（CIS社）の貢献、保守部品増等により増加

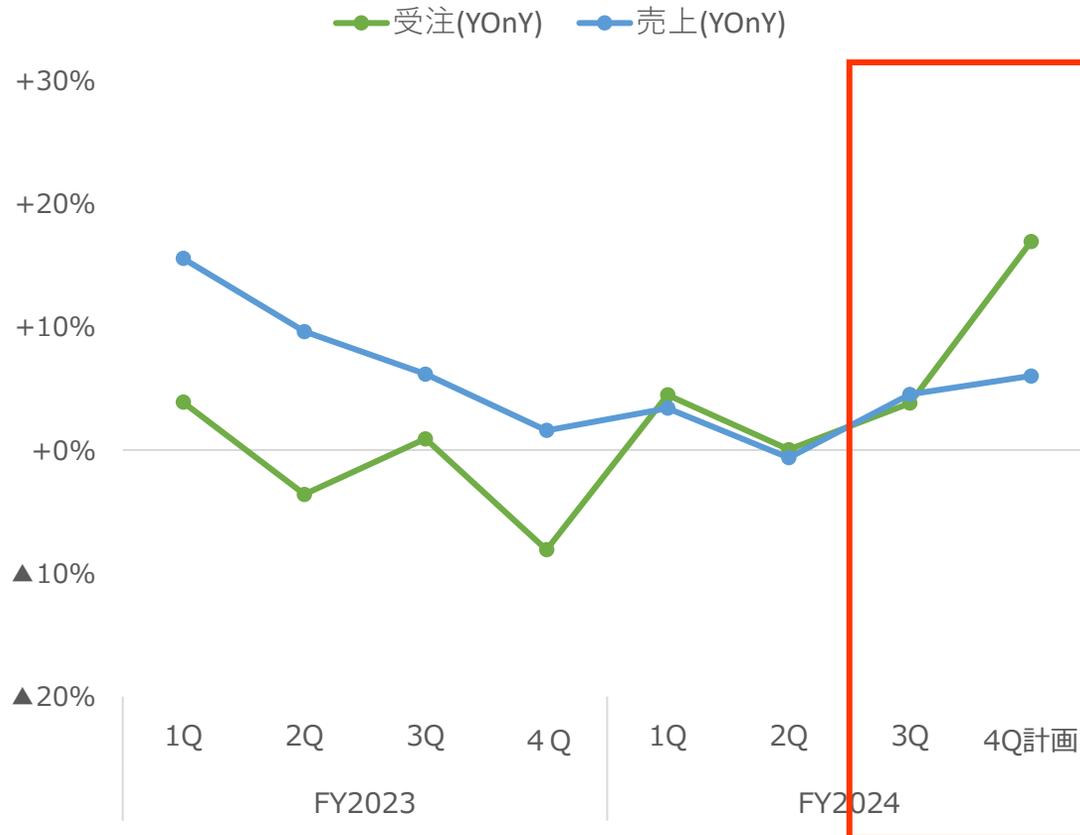
— リカーリング比率 ■ メンテナンスサービス売上高 ■ 消耗品売上高



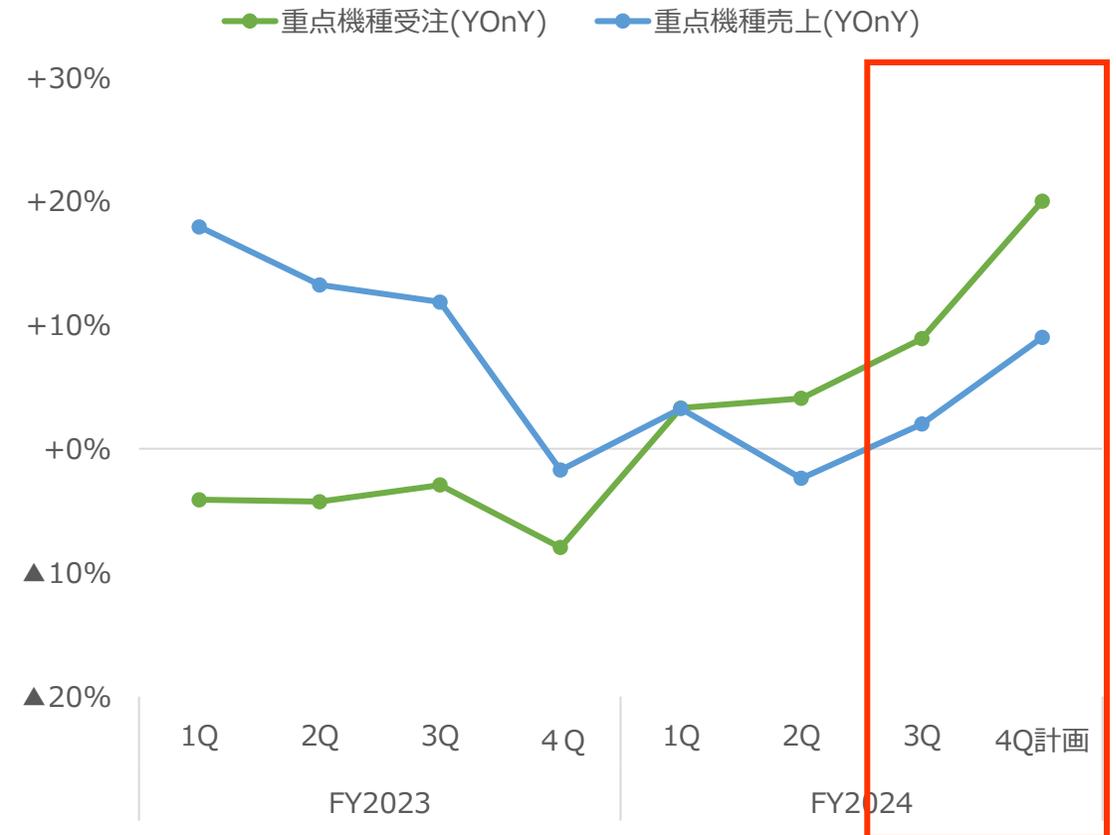
02 計測受注及び中国の状況

- 計測全体：2Qがボトムで3Qから改善
- 重点機種：受注は1Qから、売上は3Qから増加。MSは、中国の政府支援策などにより3Q、4Qと増加

計測全体 * 円ベース



計測重点機種 (LC,MS,GC) * 円ベース



計測地域別受注前年同期比

- 日本：製薬、GX向けに伸長
- 海外：前年に前倒し受注があったインドを除き、プラス成長

*円ベース	1Q	2Q	3Q	市況、当社の状況（3Q）
日本	+10~13%	▲6~▲4%	+1~3%	市況：総じて堅調 当社の状況：製薬、グリーン向けに伸長
海外	±1%	+1~3%	+4~6%	
北米	+24~26%	+20~23%	+10~13%	市況：製薬投資減少。政権交代でアカデミア、官需予算の執行鈍化 当社の状況：製薬、臨床、PFAS向けに注力。新規連結のZef社も貢献
欧州	+1~3%	±1%	+10~13%	市況：ドイツを中心に市況は低迷 当社の状況：臨床向けが増加
中国	▲23~▲20%	▲16~▲14%	+1~3%	市況：政府支援（大規模設備投資補助）などで回復傾向 当社の状況：アカデミア、税関向け受注拡大。医薬向けも前年同期比並みまで回復
その他のアジア	+10~13%	+10~13%	▲3~▲1%	市況：東南アジア、インドで製薬向け好調 当社の状況：インドで前年3Qに4Qからの前倒し受注あり
内インド	+20~23%	+17~19%	▲13~▲10%	市況：製薬向け好調が継続 当社の状況：インドで前年3Qに4Qからの前倒し受注あり
連結	+4~6%	±1%	+4~6%	

計測中国の見通し

- 『大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画』によりアカデミア、税関を中心に案件が増加
- グリーン領域では新汚染物質規制強化、ヘルスケア領域では薬典改定による需要増に期待
- 国産優遇に対応するため、中国の工場を拡張

政府支援策
(大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画)

- ・ 今年度受注目標\$30M
- ・ 3Qまでに\$20Mを受注

グリーン

- ・ 新汚染物質管理行動計画による分析用途向け装置拡販
- ・ 水素プロジェクト、EV・リチウム電池市場向けに、GCや試験機などの展開拡大

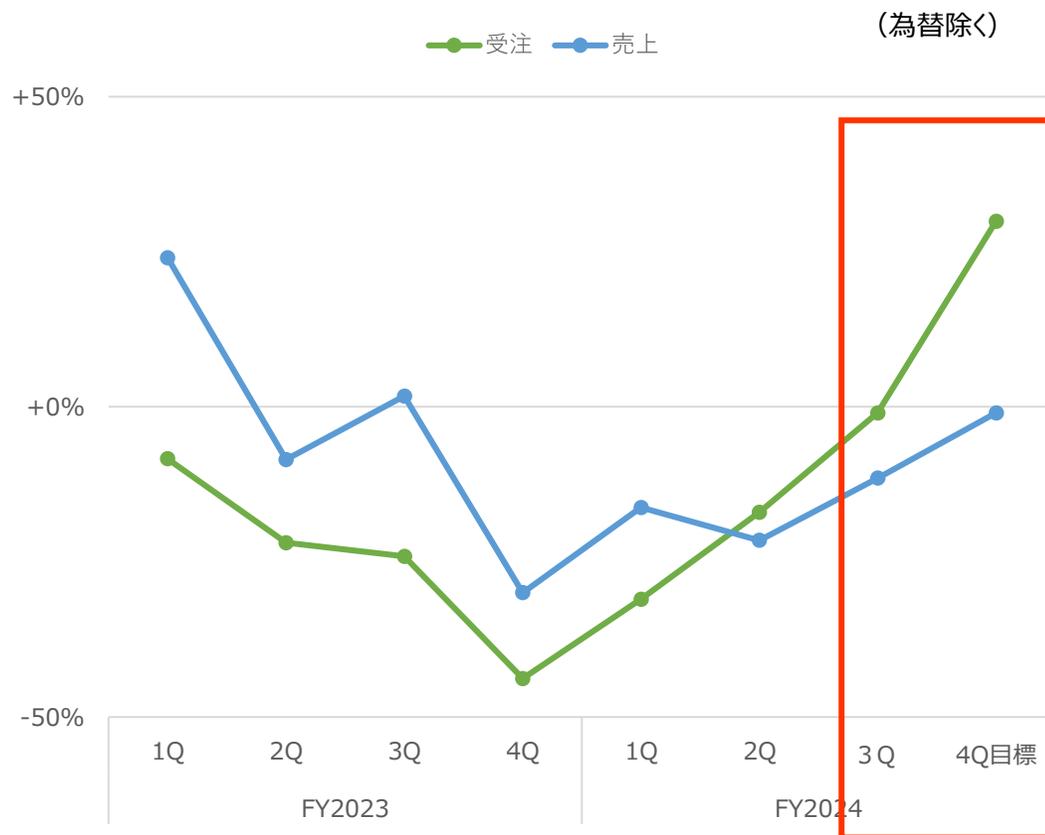
ヘルスケア/製薬
FY2025 薬典改訂

- ・ 2025年10月に施行 (当初の7月から遅延) FY2025 1Qから業績貢献
- 追加成分の分析メソッド、ソリューションの早期開発、販促強化

現地生産強化

- ・ 国産優遇に対応するため、中国工場を拡張 LC,MSなどのハイエンド機生産を拡大

計測中国 受注・売上 前年同期比推移



計測中国／大規模設備更新プロジェクト

- 対象投資期間：2024年～2027年の4年間
 - 3Qまでに\$20Mを受注
 - 今年度受注目標は\$30M
- 財源：超長期特別国債 総投資規模：100兆円

スケジュール



対象顧客

- 01 教育部直轄大学・職業学院
- 02 省市級大学・職業学院
- 03 出入境検疫局（税関）
- 04 衛生・動植物検疫局（税関）
- 05 疾病予防コントロールセンター(CDC)
- 06 民間企業

取組み

- エリア別プロジェクト案件把握
- 分野別 推奨システム提案
- 国産案件への中国生産品提案
- 製販連携での納期対策

計測中国／中国工場拡張

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 事業拡大、国産優遇に対応するため、中国工場を拡張し、2024年12月に竣工。製造能力は2.4倍に
- 拡張した工場では、LC,MSを中心としたハイエンド品を生産

- ・竣工 : 2024年12月
- ・所在地 : 蘇州市
- ・事業内容 : 精密機器の製造
- ・従業員数 : 約400名
- ・生產品目 : LC、GC、LCMS、GCMS、試験機、
環境モニタリング装置、分光光度計等
- ・投資金額 : 約30億円
- ・その他 : 自動化設備、最新の塗装設備を導入
省エネ設備・太陽光発電でCO2排出を削減

今回拡張した工場



03 2024年度通期業績予想

2024年度通期業績予想

■ 3Qまでの状況を鑑み、前回公表値から予想を修正

	単位：億円	FY2023	通期		前期比	
			FY2024 旧予想	FY2024 新予想	増減額	増減率
業績	売上高	5,119	5,400	5,400	+281	+5%
	営業利益	728	760	730	+2	+0%
	営業利益率	14.2%	14.1%	13.5%	▲0.7pt	
	経常利益	769	770	750	▲19	▲2%
	親会社株主に帰属する当期純利益	570	580	580	+10	+2%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	144.66	148.84	153.50	+8.84	+6%
	ユーロ(円)	156.85	160.49	163.90	+7.05	+4%

研究開発費	215	280	280	+65
設備投資額	225	280	280	+55
減価償却費	186	200	200	+14

為替感応度

	米ドル	ユーロ
売上高：	15億円	3億円
営業利益：	5億円	1億円

2024年度通期業績予想／セグメント別

- 計測：製薬・臨床・グリーンなどの好調な市場、地域での拡大。受注残の売上転化を推進。成長投資などで減益
- 医用：日本、中国の市況低迷を北米やその他のアジアでカバーし増収。プロダクトミックスの悪化などで減益
- 産業：半導体製造装置向けTMPが好調で増収増益
- 航空：防衛向け、民間向けともに好調で増収増益

単位: 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2023	FY2024 旧予想	FY2024 新予想	前期比		FY2023	FY2024 旧予想	FY2024 新予想	前期比		FY2023	FY2024 旧予想	FY2024 新予想	前期比 増減
				増減額	増減率				増減額	増減率				
計測機器	3,383	3,480	3,500	+117	+3%	575	580	545	▲ 30	▲ 5%	17.0%	16.7%	15.6%	▲ 1.4pt
医用機器	723	760	730	+7	+1%	48	55	40	▲ 8	▲ 16%	6.6%	7.2%	5.5%	▲ 1.1pt
産業機器	661	720	725	+64	+10%	74	95	100	+26	+35%	11.2%	13.2%	13.8%	+2.6pt
航空機器	287	380	385	+98	+34%	35	38	50	+15	+43%	12.2%	10.0%	13.0%	+0.8pt
その他	65	60	60	▲ 5	▲ 8%	10	10	10	▲ 0	▲ 4%	11.4%	11.8%	11.8%	+0.4pt
調整額	-	-	-	-	-	▲ 15	▲ 18	▲ 15	▲ 0	-	-	-	-	-
合計	5,119	5,400	5,400	+281	+5%	728	760	730	+2	+0%	14.2%	14.1%	13.5%	▲ 0.7pt

04 トピックス

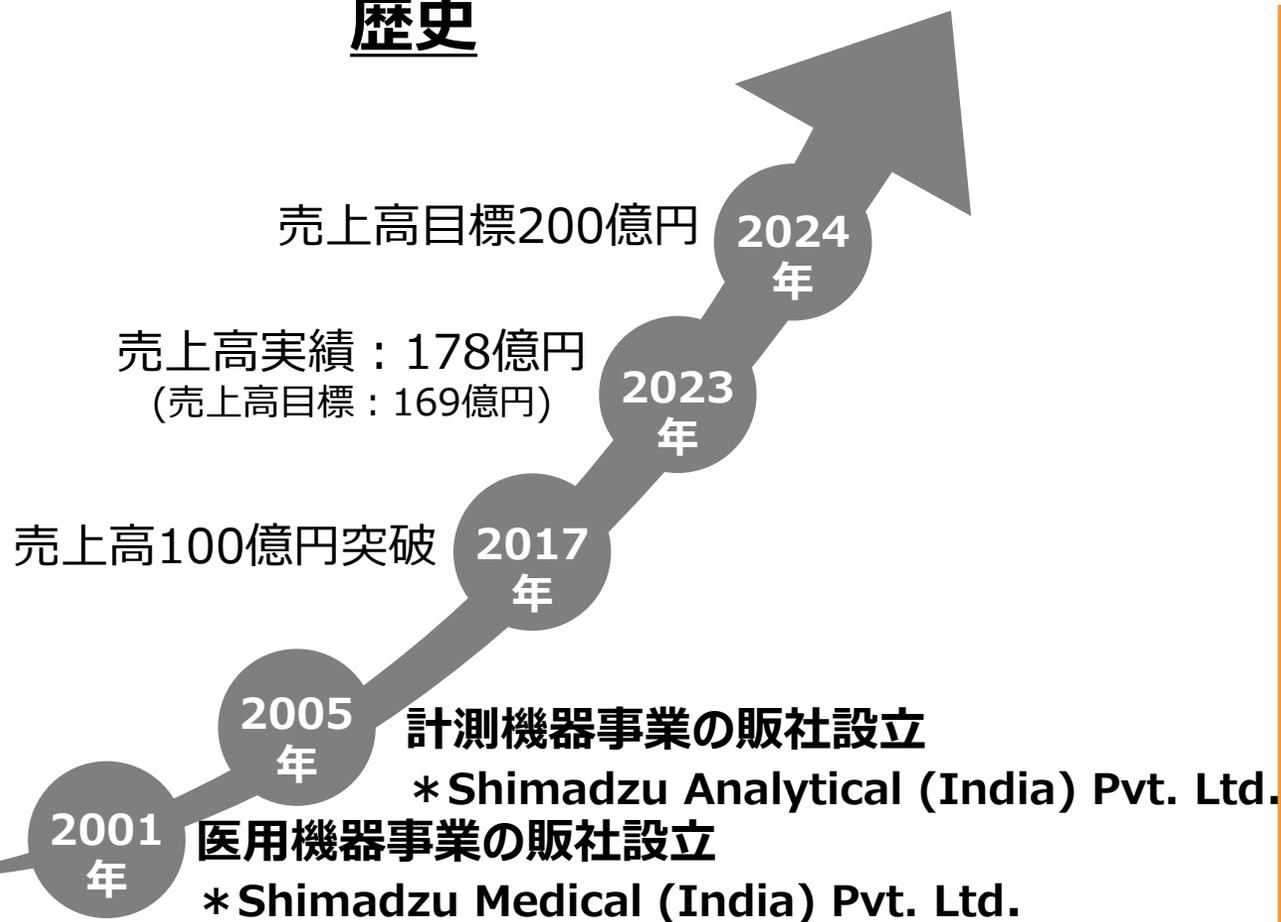
・インド事業拡大

現在のインド事業

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 主に計測と医用の販売を行う。
- 計測は島津と代理店で全インドをカバー。総勢約1,500名体制

歴史



拠点

島津グループ販社

- ★ 本社
- 支店
- ラボ



ムンバイ本社
アプリケーションセンター



デリー支店
アプリケーションセンター

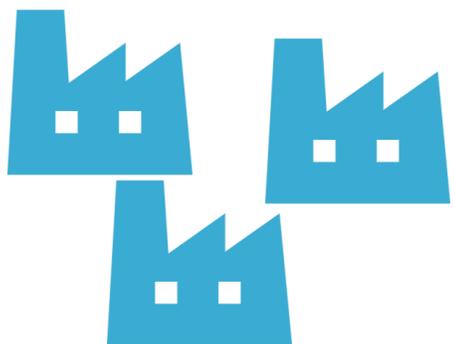


チennai支店

島津代理店

- 拠点

- 製薬市場で高いシェア：液体クロマトグラフ シェアNo.1
- ジェネリック医薬品の品質管理向けに、お客様の声を反映した使いやすく、省スペースの高性能製品を投入
- 製薬企業で重視されるデータ管理の負担をネットワーク構築で解決



薬の生産量増加により
品質管理の需要増加



一体型液体クロマトグラフ
i-Series

薬の品質管理に
特化した製品を投入

- ・製薬企業向けに豊富な製品ラインナップを活かした
トータルソリューションを提供
- ・分析データ管理ソフトウェア (LabSolutions) による
ネットワーク構築で、安全なデータ管理と効率化を実現



液体クロマトグラフ

インドシェア1位：**40%**
(世界シェア：25%)

* 台数ベース * FY2023時点



- 製造ではサプライチェーン強靱化、地産地消確立と国産優遇策 “Make in India” への対応が課題
- 開発・販売・サポートにおいては臨床市場対応とソリューション提供が課題

ソリューション提供の強化

現地顧客のニーズに応えるアプリケーション開発が必要

臨床領域向け事業戦略の立案

臨床向け規制・認証取得を見据えた開発が必要

臨床領域での販売力向上

計測機器の臨床市場展開には新たな販売網が必要

顧客・代理店支援機能の充実

購入前後の評価・教育機会の拡充で顧客満足度向上へ

開発

製造

販売・サポート

サプライチェーン強靱化

現状、インド向けにはマレーシア、日本から主要製品を輸出しており、需要拡大に対応するサプライチェーン強靱化、地産地消の確立が必要

インド国産優遇対策

インド政府が2014年から推進
“Make in India” 政策への対応が重要

政府系調達案件では入札参加条件に国産化率が設定される場合あり
条件を満たせば他社より高額で落札できる優遇処置がある

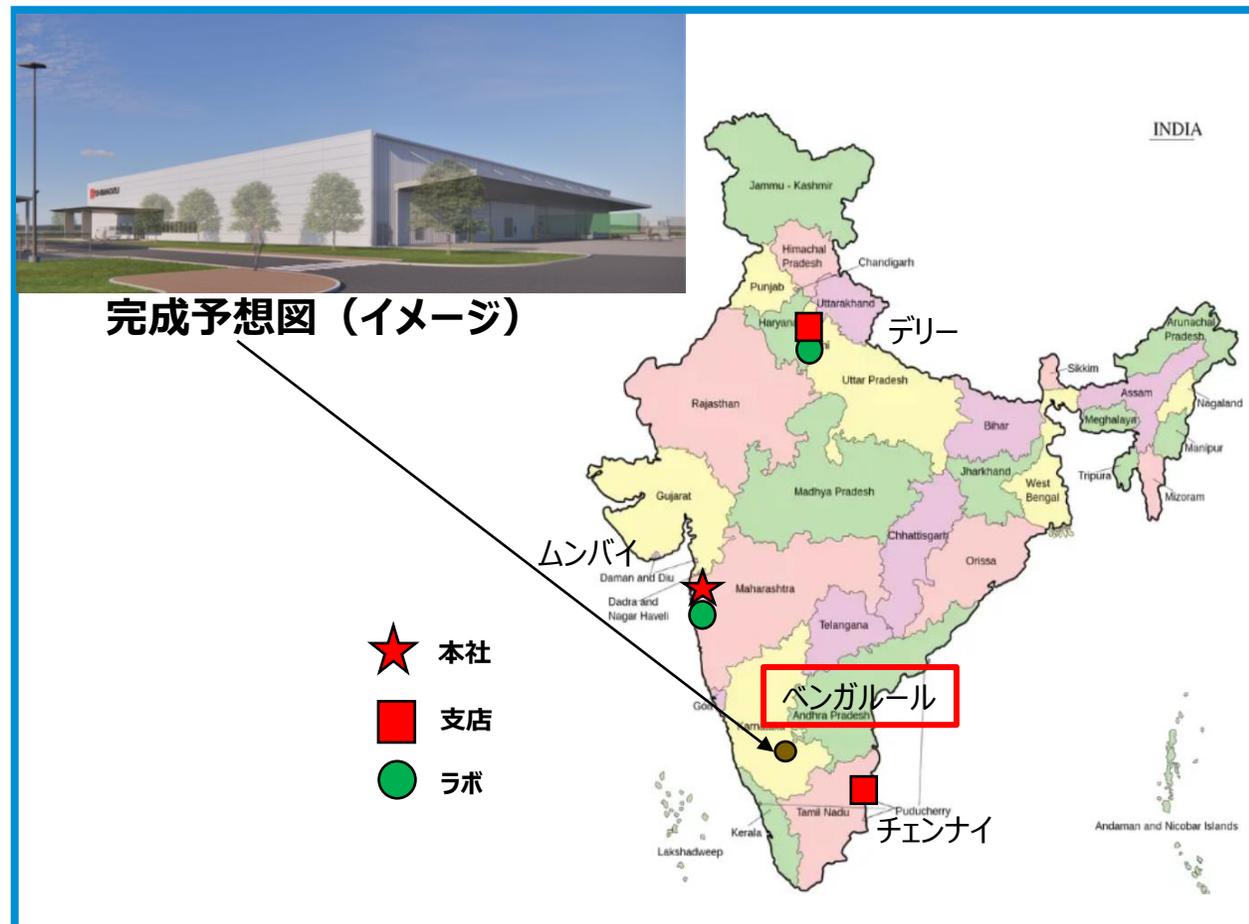


工場の新設

- 2025年3月に製造会社を設立、2027年春の操業開始を目指す
- 当初は計測機器の製造だが、将来的には医用機器、産業機器（ターボ分子ポンプ）も視野に入れる

新工場の概要

- ・名称 : Shimadzu Manufacturing India Private Limited
- ・設立 : 2025年3月
- ・工場竣工 : 2027年春頃
- ・所在地 : カルナタカ州 ベンガルール
- ・面積 : 敷地40,000m²、建屋5,500m²
- ・事業内容 : 精密機器の製造
- ・従業員数 : 50名 *2035年150名を予定
- ・生産品目 : 計測機器 (将来的には医用機器、産業機器)
LC,GC, LCMS,GCMS,紫外可視分光光度計
- ・投資金額 : 約25億円
- ・その他 : 太陽光発電でCO2排出を削減



完成予想図（イメージ）

販社統合による業容拡大

- 計測および医用の販社を統合。新会社を設立し、業容拡大を目指す
- 統合により、開発・販売・サポートを強化

計測・医用の販社を統合

Shimadzu
Analytical
(India)
Pvt. Ltd.



Shimadzu
Medical
(India)
Pvt. Ltd.



2025年夏
Shimadzu India Pvt. Ltd.
を設立

開発

- アプリケーションラボの増強
- 医用事業の規制対応・認証取得機能の計測事業への展開
- 計測・医用・外部が連携した **Advanced Healthcare** 事業



計測・医用事業統合後の新オフィス

販売・サポート

- 医用事業の販売網を活用した計測事業の臨床市場への展開
- 顧客・代理店向け操作・アプリケーショントレーニング「Shimadzu Academy」による顧客満足度の向上



インド事業の見通し

■ 各領域で戦略を遂行し、2030年度に売上高350億円、2035年度に売上高470億円へ

ヘルスケア



【製薬 CRO・CDMO】

- ジェネリック医薬品、バイオ医薬品向けに計測機器を拡大

【臨床】

- 医療インフラの改善による医療アクセス向上に伴い、計測機器や血管撮影システムを拡販

グリーン



【リチウムイオン電池 (Lib)】

- EVの普及、再生可能エネルギーの貯蔵需要の拡大

【環境規制】

- 環境規制強化による市場拡大
- PFAS、マイクロプラスチック向けにソリューションを提供

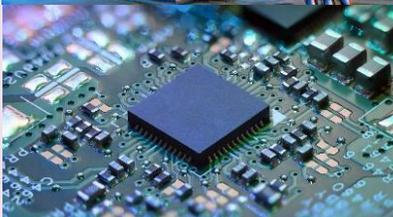
マテリアル



【化学製品・金属など素材市場】

- “Make In India” による製造業の需要増への対応
- 自動車、インフラ用途、水素運搬用途の新素材開発向けに計測機器の拡販

インダストリー



【半導体】

- 半導体製造装置向けターボ分子ポンプの参入

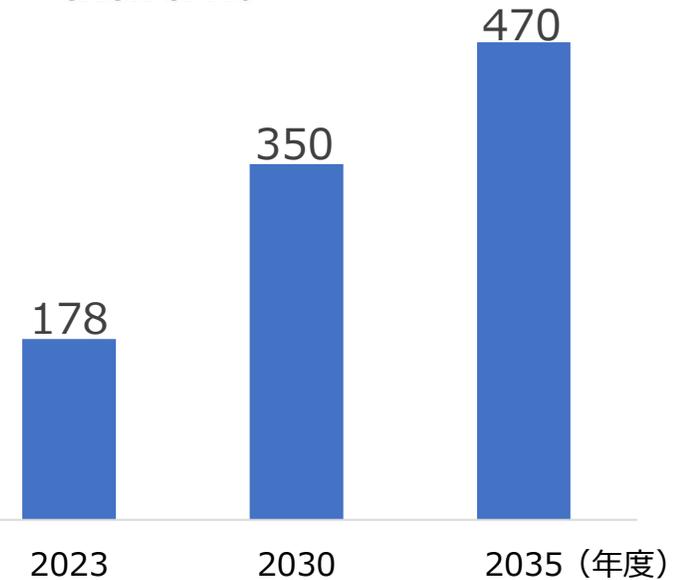
【フォークリフト】

- 環境規制に対応した電動フォークリフト需要に対応

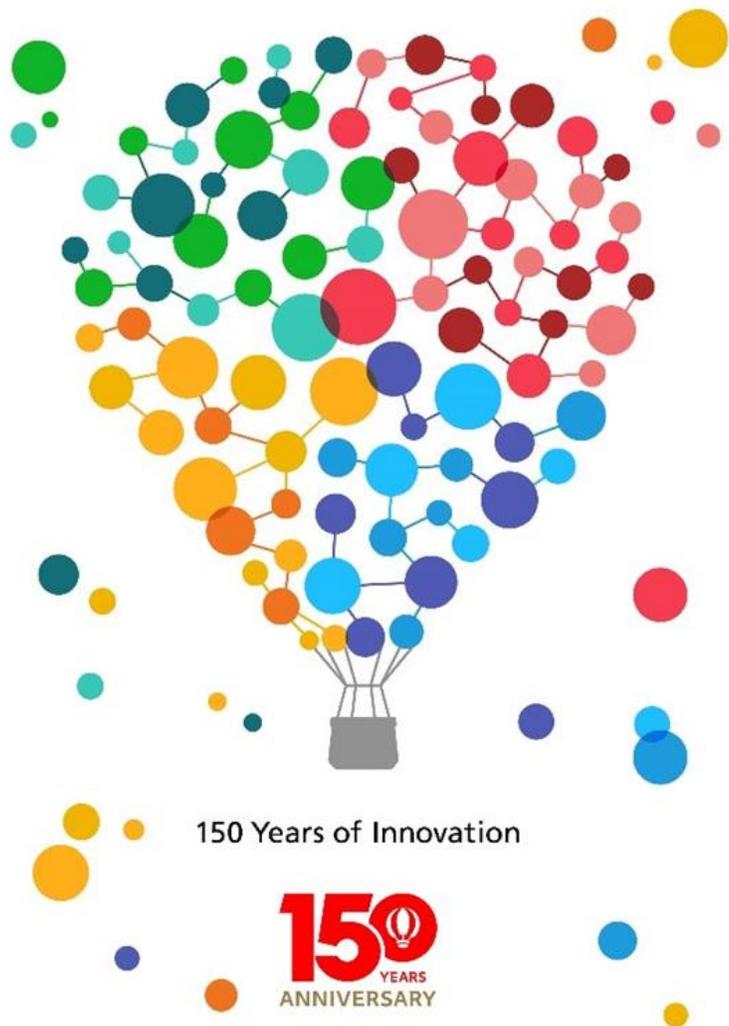
インド売上高

(億円)

FY2023-2035
CAGR 8.4%



*2030年度、2035年度は 1ドル : 140円で換算



2025年3月31日に
当社は創業から**150年**を迎えます。

積み上げてきた歴史は
ステークホルダーの皆様とともに
創ってきた**イノベーションの歴史**です。

今後も**共有価値の創造**を実現することで
島津グループを飛躍させてまいります。



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、
経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動
要素により、事前見通しと大きく異なる結果となる
ことがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部
IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

連結業績（4-12月）

	単位：億円	第3四半期累計(4月-12月)		前年同期比	
		FY2023	FY2024	増減額	増減率
業績	売上高	3,656	3,843	+187	+5%
	営業利益	507	470	▲37	▲7%
	営業利益率	13.9%	12.2%	▲1.6pt	
	経常利益	529	492	▲38	▲7%
	親会社株主に帰属する当期純利益	391	361	▲29	▲7%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	143.33	152.61	+9.28	+6%
	ユーロ（円）	155.34	164.87	+9.52	+6%
	研究開発費	154	206	+52	+34%
	設備投資額	164	172	+8	+5%
	減価償却費	139	145	+6	+5%

為替影響額

売上高：131億円

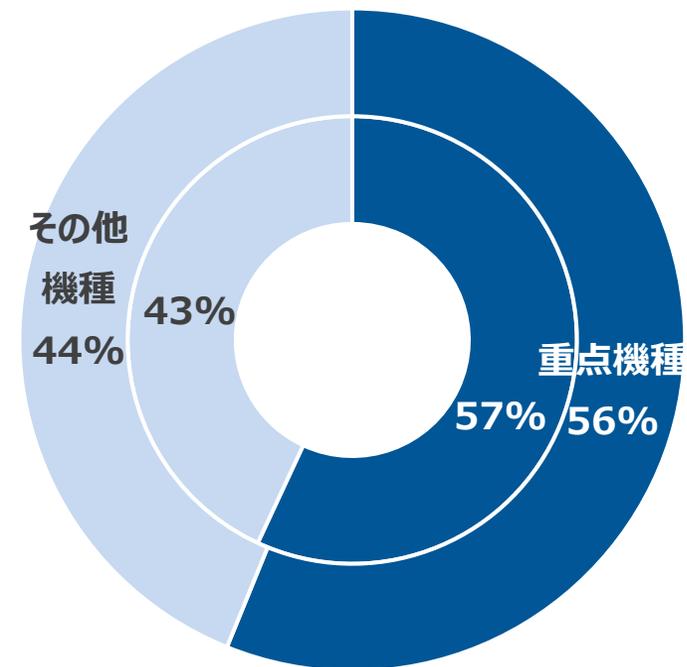
営業利益：52億円

セグメント別損益（4-12月）

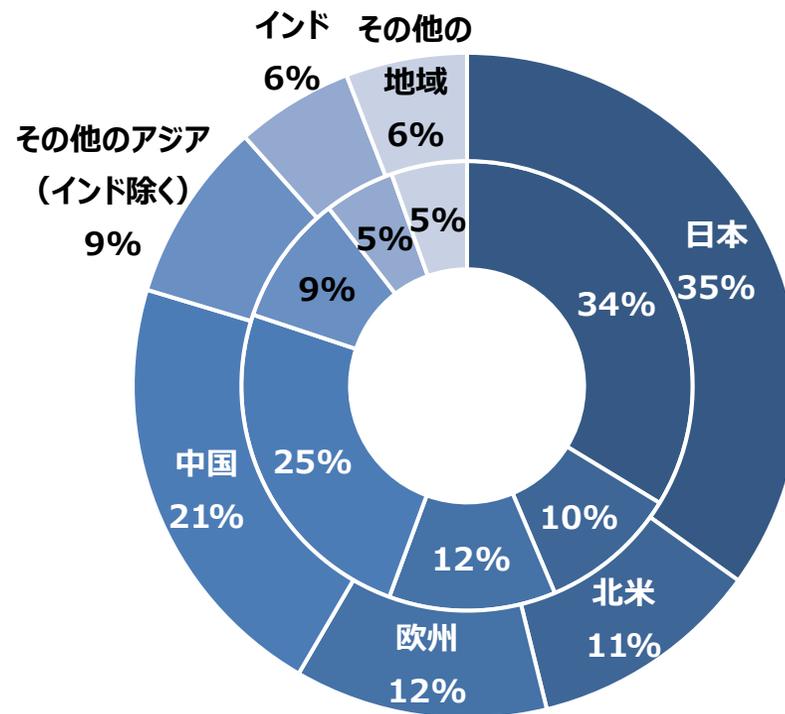
単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2023	FY2024	前年同期比		FY2023	FY2024	前年同期比		FY2023	FY2024	前年同期比
			増減額	増減率			増減				
計測機器	2,423	2,479	+56	+2%	408	338	▲69	▲17%	16.8%	13.6%	▲3.2pt
医用機器	507	503	▲4	▲1%	24	16	▲7	▲31%	4.7%	3.3%	▲1.4pt
産業機器	473	534	+61	+13%	52	79	+27	+53%	10.9%	14.8%	+3.9pt
航空機器	205	280	+75	+37%	28	41	+13	+46%	13.6%	14.5%	+1.0pt
その他	48	47	▲1	▲2%	7	4	▲2	▲35%	10.0%	6.8%	▲3.2pt
調整額	-	-	-	-	▲10	▲8	+2	-	-	-	-
合計	3,656	3,843	+187	+5%	507	470	▲37	▲7%	13.9%	12.2%	▲1.6pt

計測機器/各種売上高構成比率 (4-12月)

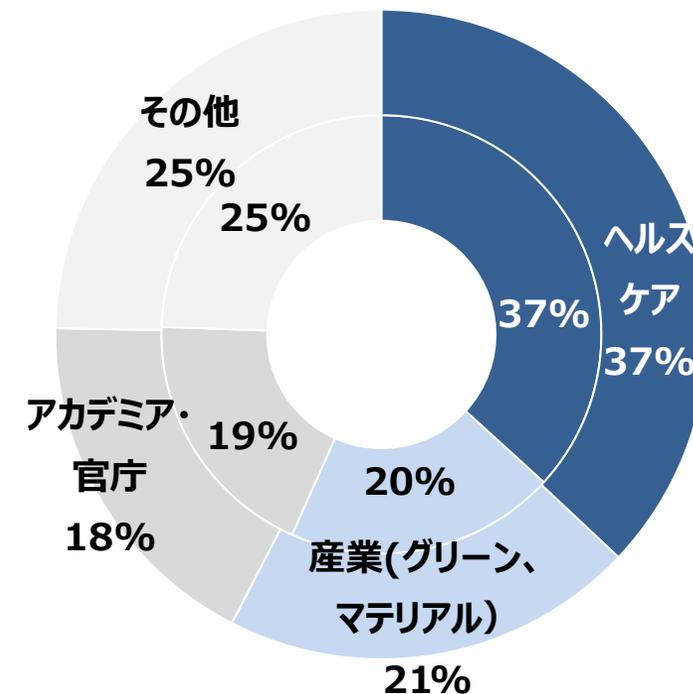
機種別



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

■ 重点機種

LC：日本、インドで医薬向け増加。北米で特定顧客向け増加。中国で医薬・CRO向け減少
 MS：欧州で臨床向け増加。中国で税関・アカデミア向け増加
 GC：新製品が化学向けで増加。中国でアカデミア、化学向け減少

	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%	▲2%	+2%
全体	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%	▲1%	+4%

※為替影響を含む

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高前年同期比

- 日本：医薬向けにLC、MS、新素材向けに試験機が増加
- 海外：インドは医薬・CRO向け増加。中国が医薬・CxO向け、アカデミア特需の反動で大幅に減少

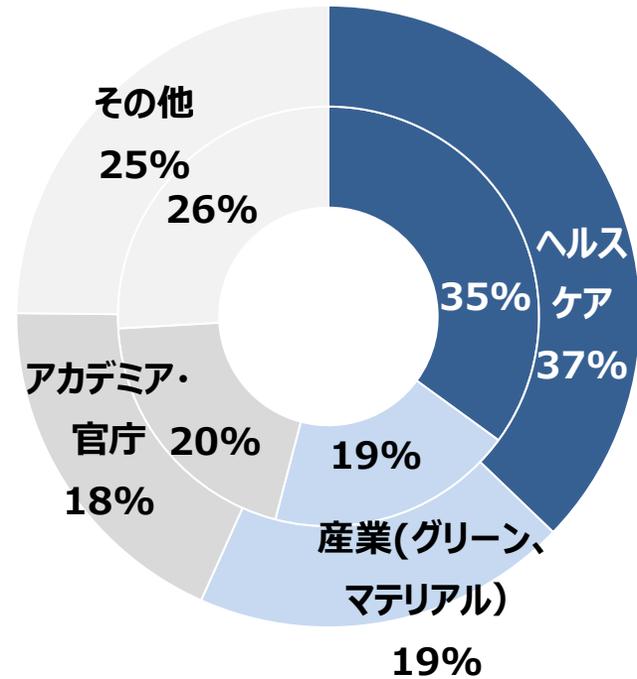
	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%
北米	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%	+13%	+21%
欧州	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%	+4%	+3%
中国	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%	▲19%	▲10%
その他のアジア	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%	+3%	+1%
インド	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%	+25%	+4%

※CxO: CRO、CMOならびにCDMO

※為替影響を含む
※インドはその他のアジアの内数

計測機器/領域別売上高比率（10-12月）

市場別売上高構成比



市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2023	FY2024		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	35%	37%	+5%	・医薬は、中国を除きグローバルで増加 ・臨床（医療機関）は、北米、欧州で増加
産業関連 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	19%	19%	+2%	・新素材開発向けに試験機が増加
大学・官公庁	20%	18%	▲8%	・北米は政権交代で予算執行鈍化 ・欧州は、大学・官需向け予算削減の動き

※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

計測機器/領域別売上高前年同期比

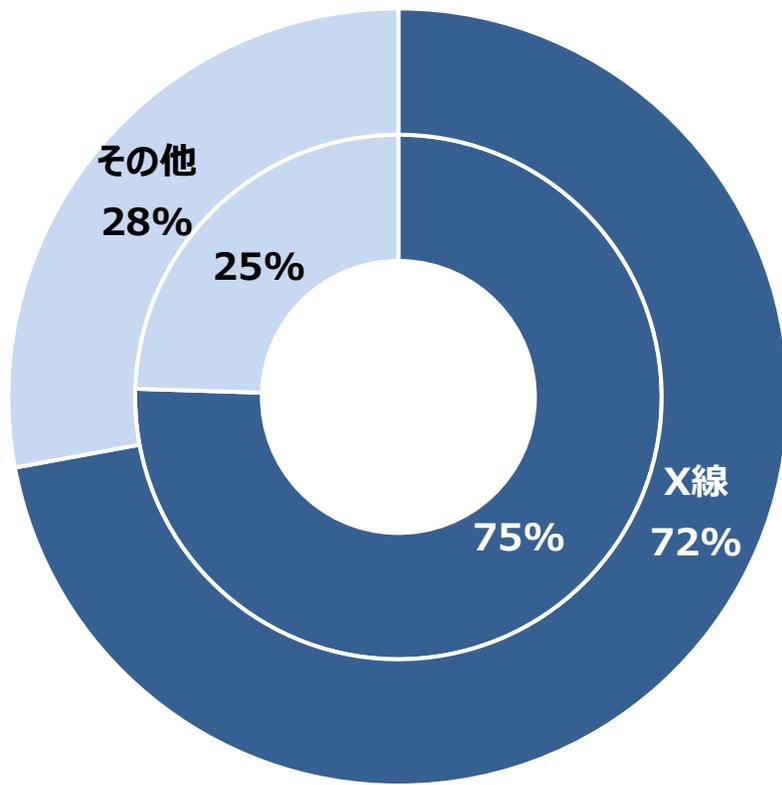
Excellence in Science
&
Best for Our Customers

	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
ヘルスケア	▲7%	+19%	+14%	+14%	+10%	+24%	+7%	▲4%	▲8%	+3%	+1%	▲4%	+5%
産業 (グリーン、マテリアル)	+6%	+17%	+12%	+19%	+14%	+15%	+8%	+6%	+5%	+8%	+7%	+2%	+2%
アカデミア・官庁	+20%	+17%	+8%	+30%	+19%	+20%	+25%	+23%	▲2%	+14%	▲2%	▲8%	▲8%

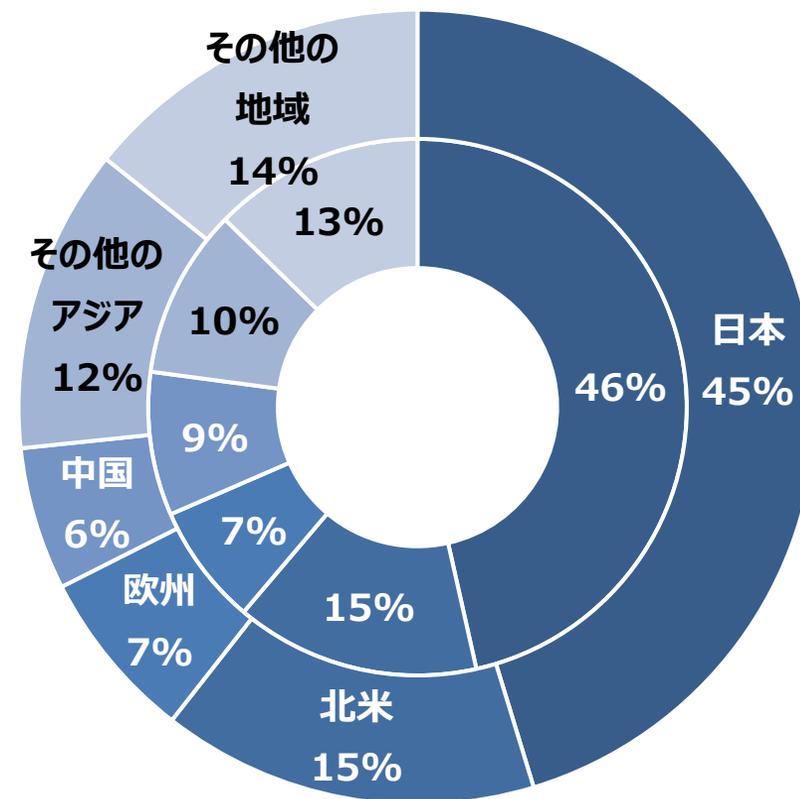
※為替影響を含む

医用機器/各種売上高構成比率（4-12月）

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

医用機器/地域別売上高

単位 億円	FY2023	FY2024	前年同期比		3Q概況	
			増減額	増減率		
日本	3Q累計	236	228	▲8	▲3%	・市況回復の遅れによりX線機種が減少
	1Q	71	70	▲1	▲1%	
	2Q	88	85	▲3	▲3%	
	3Q	77	72	▲4	▲5%	
海外	3Q累計	271	275	+4	+1%	・海外売上高比率は55%(前年比横ばい)
	1Q	73	85	+12	+16%	
	2Q	102	100	▲2	▲2%	
	3Q	96	90	▲6	▲6%	
北米	3Q累計	74	77	+2	+3%	・X線TVシステムが増加 ・回診車が減少
	1Q	17	24	+6	+37%	
	2Q	33	30	▲3	▲8%	
	3Q	24	23	▲1	▲6%	
欧州	3Q累計	37	35	▲2	▲5%	・東欧向けにX線TVが増加
	1Q	9	10	+1	+11%	
	2Q	11	8	▲3	▲30%	
	3Q	17	17	+0	+3%	
中国	3Q累計	44	29	▲15	▲33%	・市況悪化や腐敗防止強化による入札案件の遅れにより X線機種が減少
	1Q	14	9	▲5	▲36%	
	2Q	17	12	▲5	▲29%	
	3Q	13	9	▲5	▲36%	
その他の アジア	3Q累計	52	62	+11	+20%	・東南アジアで、X線TVシステムが増加
	1Q	16	18	+2	+15%	
	2Q	17	25	+8	+47%	
	3Q	19	20	+0	+1%	

医用機器/地域別売上高前年同期比

- 国内：市況回復遅れの影響を受け減収
- 海外：中国が市況回復遅れ、入札案件の遅れにより大幅減

	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%
北米	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%	▲8%	▲6%
欧州	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%	▲30%	+3%
中国	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%	▲29%	▲36%
その他のアジア	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%	+47%	+1%

※為替影響を含む

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP : 半導体製造装置向けが増加
- 油圧 : 輸送機・小型建機向けが軟調
- その他機種 : 自動車用セラミック製造向け工業炉が増加

	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%	+7%	+10%
油圧	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%	▲4%	▲2%
その他	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%	+42%	+7%

※為替影響を含む

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前年同期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率

- 計測 : 日本・北米で医薬向け、欧州で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用 : 北米で代理店買収によりメンテナンス・サービスが増加
- TMP : 台湾、韓国で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+4%	+19%	+30%	+14%	+17%	+14%	+7%	▲1%	+4%	+5%	+9%	+6%	+12%
リカーリング比率	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%	37%	34%	36%	41%	38%	40%

医用	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+8%	+11%	+7%	+6%	+8%	▲0%	▲4%	+4%	+5%	+1%	+6%	+3%	+1%
リカーリング比率	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%	37%	33%	36%	41%	36%	40%

TMP	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+8%	+3%	+12%	▲14%	+2%	▲6%	▲4%	+15%	+47%	+12%	+58%	+52%	+36%
リカーリング比率	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%	18%	17%	16%	19%	19%	22%

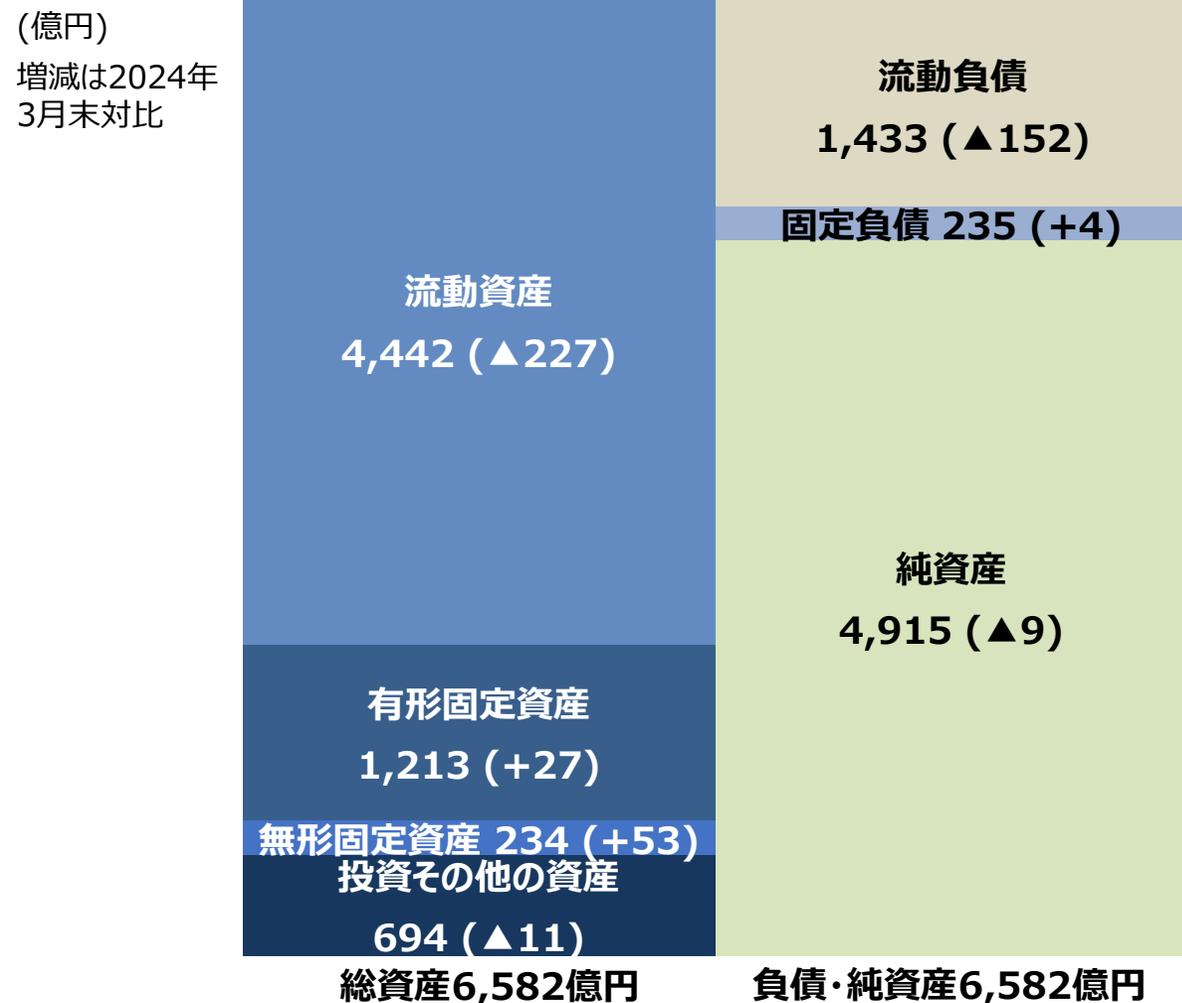
※為替影響を含む

為替	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
USドル	129.6	138.4	141.6	132.4	135.5	137.4	144.7	147.9	148.6	144.7	155.9	149.4	152.5
ユーロ	138.2	139.4	144.3	142.2	141.0	149.5	157.4	159.2	161.4	156.9	167.9	164.0	162.6

前年同期比	FY2022					FY2023					FY2024		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
USドル	+18%	+26%	+24%	+14%	+21%	+6%	+5%	+4%	+12%	+7%	+13%	+3%	+3%
ユーロ	+5%	+7%	+11%	+9%	+8%	+8%	+13%	+10%	+14%	+11%	+12%	+4%	+2%

連結財政状態

- 2024年12月末総資産 6,582億円（2024年3月末から▲157億円）
- 自己株式の取得205億円により流動資産・純資産減少



資産

流動資産

▲227億円

- 現金 ▲317億円（自社株取得、Zef社買収など）

無形固定資産

+53億円

- のれん増加 +50億円（Zef社新規連結など）

負債・純資産

流動負債

▲152億円

- 支払債務 ▲84億円

純資産

▲9億円

- 利益剰余金 +177億円
- 自己株式の取得 ▲205億円

(参考) 計測中国／薬典改定

- 2025年10月に施行予定（当初予定より3か月後ろ倒し）
- 2025年4月から初期需要が発生し、10月施行前後の半年間に渡って薬典分析ニーズに対応した需要が継続

2025年版薬典改訂状況

分類	改訂状況	重点管理物質
漢方薬	新規100種 改訂500種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留農薬、植物成長促進剤 ・ 重金属など有害物質
化学薬品	新規100種 改訂400種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝毒性不純物 ・ 化学合成ペプチド
バイオ薬	新規10種 改訂80種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細胞治療製品 ・ ADC（抗体薬物複合体） ・ ワクチン中の不純物
添加剤 薬包材	新規40種 改訂60種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留溶剤 ・ 有害元素
分析法	分析法80種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留溶剤 ・ 元素不純物 ・ 残留農薬

薬典の施行スケジュールと需要見込

年	2024		2025												2026		
月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
					★ 3月公布(予定)							★ 10月施行(予定)					

★ 3月公布(予定)

★ 10月施行(予定)

需要期間

施策

- 2025年版薬典対応のアプリケーションの開発・提案
- 漢方薬の上位企業向け販促強化